

Oyama

2025 年 10 月 2 日
町田市立小山小学校
校長 三瓶 昌信

町田市小山町 944 番地
TEL 797-2733

<http://www.machida-tyo.ed.jp/e-oyama/>

授業改革～学校改革

校長 三瓶 昌信

ようやく秋が来たかなと思いましたが、まだまだ昼は気温が高めです。「四季」はどこへ行ったのでしょうか。春や秋を感じる期間が短くなった気がします。

「秋」は、読書、芸術、スポーツ、食欲、実り…物事にじっくり取り組むことができる季節です。学校では運動会や学芸会、展覧会などの行事を予定していることが多いです。本校では運動会を実施します。

昨年度から、運動会の改革を進めています。基本的な考え方となるのが、授業時間の余剰削減と、体育科の「表現運動」の適正な実施です。かつてのように、運動会に向けて何時間も練習に費やすわけにはいきません。また、体育科の表現運動には学年に応じた学習内容があります。その学習をしっかりと位置付けることが改革の主旨です。

「改革」なので、今までの運動会から「表現」だけをなくすのでは意味がありません。新しい形の行事を創り出します。これは運動会だけでなく、展覧会や学習発表会も同様です。それぞれの部会で知恵を出し合って検討しています。市内でも、1～6年のたてわり班を中心に実施している学校や、「スポーツフェスタ」という名称でイベント的な内容で実施している学校など新しい行事が広がりつつあります。

このように、市内各校では「町田市教育プラン 24～28」の具現化に取り組んでいます。その第一歩は「授業改革」です。本校でも教師一人一人の授業力向上と「教師が教えない・しゃべらない授業 ～子供たちの『学び続ける力』を高める授業～」の確立を目指しています。合わせて学校行事や特別活動の改革にも取り組んでおり、まさしく「学校改革」です。

子供たちにタブレットが配布されてから、既に5年以上経過しました。ICT 教育はもう次の段階に進んでいます。一斉に「さあタブレットを開きましょう」という授業は過去のものです。子供一人一人が学習の見通しをもち、自分で考えて学習を進めます。そしてそれぞれの考えや思いを伝え合い、話し合うことで、より深い学びを目指しています。

学年会を中心に、各分掌部会で知恵を出し合い、「授業改革」・「学校改革」に取り組んでいます。まだまだ歩みは緩やかなのが現状です。皆様のお知恵をぜひお貸しください。

先日、「親児会」（おやじかい）の皆様が運動会のために、校庭に寒冷紗の支柱を設置してくださいました。また、PTA 役員の方々を中心に親児会の協力を得て、6～7年ぶりに「学校探検」を実施しました。地域や保護者の皆様に「支えられている」ということを改めて認識しました。さらに、保護者（PTA）・地域・学校の「濃いつながりの小山」を実感することができました。

今年度は、できるだけ月に1回は学校にお越しいただきたく、保護者会、授業参観、個人面談、土曜学校公開、学校行事などを計画しました。これも、子供を中心として、大人のつながりや交流を深めたいという思いからです。「365日学校公開」です。我が子や友達、教職員…の良いところもそうでないところも、全てをご覧ください。お友達とお誘いあわせの上、ぜひお越しください。お待ちしております。